

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社イトーキ 上場取引所

東

コード番号 7972

URL https://www.itoki.jp/ (氏名) 湊 宏司

代 者 (役職名) 表

代表取締役社長 取締役常務執行役員

(TEL) 03-6910-3910

問合せ先責任者

管理本部長

(氏名) 森谷 仁昭

四半期報告書提出予定日

2023年5月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

(役職名)

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利	益	経常利	益	親会社株主I する四半期線	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	36, 965	4. 6	4, 777	20. 5	4, 824	21. 4	3, 296	△2. 7
2022年12月期第1四半期	35, 345	9. 9	3, 964	133. 4	3, 974	139. 7	3, 388	74. 4
(注)包括利益 2023年12月	期第1四半期	3, 515	百万円(6.	7%) 202	22年12月期第	1四半期	3,294百万円	1 (55. 6%)

潜在株式調整後 1株当たり 1株当たり 四半期純利益 四半期純利益 円 緋 銉 円 2023年12月期第1四半期 72.80 67.70 74.95 2022年12月期第1四半期

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	115, 841	51, 748	44. 6	1, 140. 93
2022年12月期	115, 288	49, 910	43. 2	1, 100. 33

(参考) 自己資本 2023年12月期第 1 四半期 51,664百万円

2022年12月期 49,825百万円

2. 配当の状況

		年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円銭	円 銭	円 銭	円銭	円銭	
2022年12月期	_	0.00	_	37. 00	37. 00	
2023年12月期	_					
2023年12月期(予想)		0.00	_	25. 00	25. 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無

(注) 2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 20円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

								(/042/1/1	
	売上	:高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期	主に帰属 月純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130, 000	5. 4	6, 500	41.8	6, 500	55. 6	3, 700	△30.1	81. 70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期 1 Q	45, 664, 437株	2022年12月期	45, 664, 437株
2023年12月期 1 Q	381, 835株	2022年12月期	381, 659株
2023年12月期 1 Q	45, 282, 688株	2022年12月期 1 Q	45, 206, 423株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	. 2
(1)経営成績に関する説明	. 2
(2) 財政状態に関する説明	. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	. 9
(継続企業の前提に関する注記)	. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	. 9
(会計方針の変更)	. 9
(追加情報)	. 9
(セグメント情報等)	.10
(重要な後発事象)	·11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは中期経営計画「RISE ITOKI 2023」の最終年度となる当年度においても、引き続き構造改革プロジェクトに基づいた各種施策を推進しております。当第1四半期連結累計期間も、強靭な体質の「高収益企業」を目指し、ポストコロナの「働く環境」づくりをリードするための新しい働き方やワークプレイスの提案、価値向上に重点を置いた営業活動の展開などにより、売上・利益の拡大を図ってまいりました。

(単位:百万円)

				(TE: D)311/
	2022年第1四半期 連結累計期間	2023年第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	35, 345	36, 965	1,619	4.6%
売上総利益	13, 862	14, 748	885	6.4%
販売費及び一般管理費	9, 898	9, 970	72	0.7%
営業利益	3, 964	4, 777	813	20.5%
営業外収益	125	125	0	0.4%
営業外費用	115	79	△36	△31.2%
経常利益	3, 974	4, 824	850	21.4%
特別利益	786	1	△785	△99.8%
特別損失	44	21	△22	△52.1%
税金等調整前四半期純利益	4, 716	4, 804	87	1.9%
法人税等合計	1, 381	1, 506	124	9.0%
四半期純利益	3, 335	3, 297	△37	△1.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 388	3, 296	△91	△2.7%

(i) 売上高

前年同期と比較して16億19百万円(4.6%)増加し369億65百万円となりました。

- ・ワークプレイス事業は、ハイブリッドな新しい働き方にあわせたリニューアル案件やオフィス移転などを中心に 好調に推移しました。
- ・設備機器・パブリック事業は、博物館、美術館の展示ケースやデジタルサイネージ等の公共施設向け設備の需要が好調に推移しました。
- ・IT・シェアリング事業は、システム開発事業に加え、第二の柱として推進してきたシステム検証事業が堅調に推移しました。また、オフィス空間のシェア事業が堅調に推移しました。

(ii) 売上総利益

前年同期と比較して8億85百万円(6.4%)増加し147億48百万円となりました。

- ・ワークプレイス事業は、原材料価格高騰の影響を見込みつつ、増収効果や提供価値の向上による利益率の改善により、増益となりました。
- ・設備機器・パブリック事業は、原材料価格高騰の影響を見込みつつ、公共施設向け設備における需要拡大、販売強化による増収効果および利益率の改善により、大幅増益となりました。
- ・IT・シェアリング事業は、システム開発・検証事業やオフィスシェア事業が堅調に推移しました。

(iii) 販売費及び一般管理費

DX推進のための IT 基盤強化等の将来の飛躍に向けた戦略的支出等を計画通りに実行するとともに、構造改革プロジェクトによる物流費削減の継続等のコスト抑制の成果により、前年同期と比較して72百万円 (0.7%) 微増の99億70百万円となりました。

(iv) 営業利益

以上の結果、営業利益は、前年同期と比較して8億13百万円 (20.5%) 増加し47億77百万円となり、想定を上回る 営業利益の確保となりました。

- ・ワークプレイス事業は、増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により、大幅増益となりました。
- ・設備機器・パブリック事業は、公共施設向け設備の増収効果および提供価値の向上による利益率の改善により、大幅増益となりました。
- ・IT・シェアリング事業は、増収効果により増益となりました。

(v) 営業外収益

前年同期と比較して同水準の1億25百万円となりました。

(vi) 営業外費用

前年同期に子会社の事業再編費用があったこと等により、前年同期と比較して36百万円 (31.2%) 減少し79百万円となりました。

(vii) 経常利益

以上の結果、経常利益は前年同期と比較して8億50百万円(21.4%)増加し48億24百万円となりました。

(viii) 特別利益

前年同期に連結子会社GlobalTreehouse株式会社の解散に伴う同社一部債権者からの債権放棄による債務免除益を 計上したこと等により、前年同期と比較して7億85百万円(99.8%)減少し1百万円となりました。

(ix) 特別損失

前年同期に中国子会社における固定資産売却損等があったこと等により、前年同期と比較して22百万円 (52.1%)減少し21百万円となりました。

(x) 親会社株主に帰属する四半期純利益

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比較して91百万円 (2.7%) 減少し32億96百万円 となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメントの名称		2022年第1四半期 連結累計期間	2023年第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
ワークプレイス	売上高	26, 920	27, 719	798	3.0%
事業	営業利益	3, 551	4, 059	507	14.3%
設備機器・	売上高	8, 018	8, 789	770	9.6%
パブリック事業	営業利益	294	553	258	87.8%
IT・シェアリング	売上高	387	420	32	8.3%
事業	営業利益	101	131	30	30.4%
報告セグメント計	売上高	35, 326	36, 928	1,601	4.5%
報音セクタント計	営業利益	3, 947	4, 744	796	20.2%
その他	売上高	18	36	17	94. 4%
	営業利益	16	33	17	106.2%
∧ ⇒1	売上高	35, 345	36, 965	1, 619	4.6%
合計	営業利益	3, 964	4, 777	813	20.5%

(2) 財政状態に関する説明

(単位:百万円)

	2022年12月末	2023年3月末	増減額	増減率
資産の部	115, 288	115, 841	553	0.5%
負債の部	65, 377	64, 092	△1, 285	△2.0%
純資産の部	49, 910	51, 748	1,838	3.7%

(資産の部)

総資産は、商品及び製品が6億15百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて5億53百万円増加 し、1,158億41百万円となりました。

(負債の部)

負債合計は、未払法人税等の納付や賞与の支給による賞与引当金が減少したこと等により、前連結会計年度末に 比べて12億85百万円減少し、640億92百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、増益により利益剰余金が16億21百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて18億38百万円増加し、517億48百万円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末から1.4ポイント増加し44.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年2月13日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、当期は新築を含むオフィス移転案件が期中に分散すること、また、設備機器・パブリック事業において、物流設備案件が下期に偏重するため、前期と異なる四半期利益構成となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26, 876	20, 808
受取手形、売掛金及び契約資産	29, 316	34, 519
電子記録債権	3, 008	3, 692
有価証券	100	100
商品及び製品	4, 998	5, 614
仕掛品	2, 010	2, 249
原材料及び貯蔵品	2, 920	3, 209
その他	1, 991	2, 234
貸倒引当金	△194	△197
流動資産合計	71,027	72, 230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11, 377	11, 718
土地	8, 436	8, 436
その他(純額)	5, 165	4, 534
有形固定資産合計	24, 978	24, 689
無形固定資産		
のれん	517	446
その他	1, 302	1, 390
無形固定資産合計	1,819	1, 837
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 057	5, 132
繰延税金資産	3, 084	2, 584
退職給付に係る資産	1, 490	1, 516
その他	8, 296	8, 317
貸倒引当金	△466	△466
投資その他の資産合計	17, 462	17, 084
固定資産合計	44, 260	43, 611
資産合計	115, 288	115, 841

(単位:百万円)

		<u> </u>
	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12, 674	14, 927
電子記録債務	7, 482	8, 484
設備関係支払手形	1, 334	133
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	9, 463	9, 05
1年内返済予定の長期借入金	1, 716	1,81
未払法人税等	3, 095	1, 173
未払消費税等	804	1,068
賞与引当金	2, 712	1, 202
役員賞与引当金	157	1:
受注損失引当金	1	
製品保証引当金	19	1'
関係会社事業損失引当金	355	33
その他	9, 221	9, 56
流動負債合計	49,099	47, 85
固定負債		,
長期借入金	6, 731	6, 83
リース債務	799	62
繰延税金負債	349	34
役員退職慰労引当金	85	8
製品自主回収関連損失引当金	83	8
退職給付に係る負債	4, 062	4, 06
資産除去債務	1, 315	1, 33
その他	2, 851	2, 86
固定負債合計	16, 278	16, 23
負債合計	65, 377	64, 09
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 294	5, 29
資本剰余金	9, 638	9, 63
利益剰余金	34, 387	36, 00
自己株式	△134	∆13
株主資本合計	49, 185	50, 80
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294	35
為替換算調整勘定	480	57
退職給付に係る調整累計額	△133	△7-
その他の包括利益累計額合計	640	85
新株予約権	45	4
非支配株主持分	39	3!
純資産合計	49, 910	51, 74
負債純資産合計	115, 288	115, 84
只	110, 200	110, 04

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
	35, 345	36, 965
売上原価	21, 482	22, 216
売上総利益	13, 862	14, 748
販売費及び一般管理費	9,898	9, 970
営業利益	3, 964	4, 777
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	22	22
持分法による投資利益	-	2
その他	92	98
営業外収益合計	125	125
営業外費用		
支払利息	37	38
持分法による投資損失	2	_
その他	75	40
営業外費用合計	115	79
経常利益	3, 974	4, 824
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	0	1
債務免除益	779	_
特別利益合計	786	1
特別損失		
固定資産売却損	19	_
固定資産除却損	13	20
その他	11	0
特別損失合計	44	21
税金等調整前四半期純利益	4, 716	4, 804
法人税、住民税及び事業税	1, 143	1,050
法人税等調整額	238	456
法人税等合計	1, 381	1, 506
四半期純利益	3, 335	3, 297
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	△53	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3, 388	3, 296

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		<u>(単位:百万円)</u>		
	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		
四半期純利益	3, 335	3, 297		
その他の包括利益				
その他有価証券評価差額金	△70	60		
為替換算調整勘定	62	97		
退職給付に係る調整額	△32	59		
その他の包括利益合計	△40	217		
四半期包括利益	3, 294	3, 515		
(内訳)				
親会社株主に係る四半期包括利益	3, 346	3, 514		
非支配株主に係る四半期包括利益	△52	1		

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りにおいて、2023年2月13日の「2022年12月期決算短信」の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			7. D/sh			四半期連結	
	ワークプレイ ス事業	設備機器・パ ブリック事業	IT・シェアリ ング事業	計	その他 (注1)	合計	調整額	損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
日本	24, 304	7, 998	387	32, 691	_	32, 691	_	32, 691
アジア	2, 510	7	_	2, 517	_	2, 517	_	2, 517
その他	105	11	_	117	-	117	_	117
顧客との契約から 生じる収益	26, 920	8, 018	387	35, 326	l	35, 326	_	35, 326
その他の収益	_	_	_	_	18	18	_	18
外部顧客への売上高	26, 920	8, 018	387	35, 326	18	35, 345	_	35, 345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	5	73	206	12	218	△218	_
計	27, 047	8, 023	461	35, 532	30	35, 563	△218	35, 345
セグメント利益	3, 551	294	101	3, 947	16	3, 964	_	3, 964

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他			四半期連結	
	ワークプレイ ス事業	設備機器・パ ブリック事業		計	(注1)	合計	調整額	損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
日本	24, 354	8, 740	420	33, 514	_	33, 514	_	33, 514
アジア	3, 219	5	_	3, 224	_	3, 224	_	3, 224
その他	145	43	_	188	_	188	_	188
顧客との契約から 生じる収益	27, 719	8, 789	420	36, 928	1	36, 928		36, 928
その他の収益	_	_	_	_	36	36	-	36
外部顧客への売上高	27, 719	8, 789	420	36, 928	36	36, 965	_	36, 965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	8	104	174	12	187	△187	_
1	27, 781	8, 797	524	37, 103	48	37, 152	△187	36, 965
セグメント利益	4, 059	553	131	4, 744	33	4,777	_	4, 777

- (注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(連結子会社の清算結了)

清算中でありました当社の連結子会社であるGlobalTreehouse株式会社は、2023年4月24日付で清算結了いたしました。

1. 解散及び清算の理由

新型コロナウイルス感染症拡大により業績及び財政状態が悪化し、今後の資金繰り計画等も踏まえて総合的に 判断した結果、事業継続は困難と判断し、同社を解散及び清算したものであります。

2. 当該子会社の名称、事業内容及び出資比率

名称 GlobalTreehouse株式会社

事業内容 会員制によるイノベーションカリキュラムの提供、レストラン運営

出資比率 100.0%

3. 清算結了日

2023年4月24日

4. 当該解散及び清算による損益への影響

当該解散及び清算に伴う連結業績に与える影響は軽微であります。

5. 当該解散及び清算による営業活動等への影響

当該解散及び清算に伴う当社グループの営業活動等への影響はありません。